

各位

モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団より日本語ニュースレターを配信いたします。

今後とも財団の活動にご理解、ご協力を賜わりたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団東京事務所

\*\*\*\*\*

モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団ニュースレター

2020年7月15日

#### CFM 初のオンライン会合開催

マンズフィールド財団は、日本時間7月15日朝、協力会員企業をメンバーとする[コーポレート・フレンズ・オブ・マンズフィールド](#)(CFM)の初のオンライン会合を開催した。本会合は、[ホアキン・カストロ](#)米国連邦下院議員(プロフィールは下記参照)をゲストスピーカーに招き、日米から約30人のCFM会員企業の代表者が参加した。カストロ議員は日米関係、米中関係など質疑応答を交えて幅広く自身の見解を参加者と共有した。

#### <ホアキン・カストロ米国連邦下院議員について>

現在4期目で(テキサス州20区)、米日議員連盟(ジャパン・コーカス)及びASEAN議員連盟の創設共同議長であり、アジア関連の多くの議員連盟に名を連ねている。昨年、議員の双子の兄弟フリアン・カストロ議員が大統領選に出馬した際には、選挙委員長を務めた。2012年に連邦下院議員に当選する前は、テキサス州議会議員を5年務めた。スタンフォード大学政治学部で学士号、ハーバード大学法学部で法務博士を取得。

#### マンズフィールド・フェロー第5期のレオ・ボスナー氏が共編者として本を出版

マンズフィールド・フェローシップ・プログラム第5期フェローで、元米国緊急事態庁危機管理専門官のレオ・ボスナー氏が、アンジェラ・オルティス氏と共編で、["Place To Grow: 8 Principles that will make you an effective leader in social impact"](#)(英語)を上梓した。オルティス氏は、被災者及び社会的弱者に対して支援、教育、協力を行うことにより、コミュニティ及び地域経済の再生、世

代間交流、人々の育成に寄与することを目的とする[特定非営利活動法人 Place to Grow](#)（東京）の CEO。本著ではオルティス氏によって、東日本大震災でのボランティアとしての自らの経験から、ストレスがかかるだけでなく馴染みのない環境で効果的に団体としての活動を行っていく中で自身や他の人が直面した課題や教訓、さらに気候変動やパンデミックなどの世界規模の問題における企業の社会的責任(CSR)や個人の責任についても語られている。ボスナー氏は、本著の共編者としてだけでなく、現在は Place to Grow の災害危機削減オフィサーを務める。ボスナー氏についてのマンスフィールド・フェローとしての詳細は以下を参照。

<https://mansfieldfellows.org/fellow/leo-v-bosner/>

